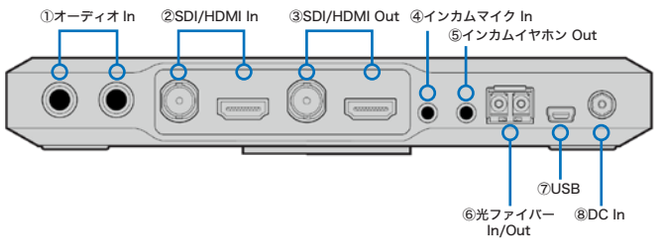
Blackmagic Design CameraConverter 取扱説明書

▼端子面



①オーディオ In
この端子にバランス TSR フォン（-20 ラインレベル～ -60 マイクレベル）にて入力すると、SDI/HDMI In の音声を上書きし、Ch1/2 にエンベデットされる。ボリュームレベルは前面のボタンで変更が可能。

②SDI/HDMI In
主にカメラからスイッチャーに送る信号を入力する。

③SDI/HDMI Out
主に返しモニターを接続する。上記端子に入力された信号（タリー表示可能）、もしくは、スイッチャーからの返し信号を、前面の PGM ボタンで切り替える。なお各端子はクロスコンバートが可能で、SDI で入力し、HDMI で出力も可能。

④インカムマイク In
インカム用ヘッドセットのマイク端子（ピンク色）を接続する。

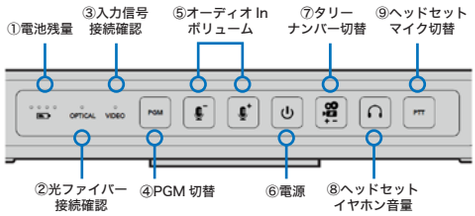
⑤インカムイヤホン Out
インカム用ヘッドセットのイヤホン端子（黒色 / 緑色）を接続する。iPhone 付属のイヤホンマイクを接続することも可能。

⑥光ファイバー In/Out
黒いゴムカバーと、ケーブル付属の白いキャップを外し、ケーブルの爪を上向きにしてカチッと音がするまで差し込む。

⑦USB
ファームウェア更新及び機能設定用。パソコンと接続する前に、Blackmagic Converter ドライバーのインストールが必要。

⑧DC In
付属の AC アダプタの他に、12V から 31V までの電源も入力可能。また内蔵充電池は、電源の供給がされていれば自動で行われる。

▼ボタン面



①電池残量
内蔵充電池で約 2 時間稼働。電池残量 10% になると LED が 1 つ点滅する。

②光ファイバー接続確認
上流のコンバーターと光ファイバーケーブルで正しく接続できると点灯。

③入力信号接続確認
SDI/HDMI In 端子に正しく接続できると点灯。

④PGM 切替
SDI/HDMI Out 端子から、
点灯時：スイッチャーからの信号（リターン）を出力。
消灯時：カメラからのビューファー（タリーボーダー付き）を出力。

⑤オーディオ In ボリューム
オーディオ In 端子に入力した、エンベデットオーディオの音量を調整する。調整の最大及び最小値に達すると、ランプが 3 秒点灯する。

⑥電源
1 秒長押しで電源の ON/OFF を行う。

⑦タリーナンバー切替
ATEM スイッチャーからのタリーを受け取る番号を指定する。
タリーは本体左右の赤色 LED と、SDI/HDMI Out 端子から出力。

ATEM 1 M/E で 5 番 (SDI 入力の 1 つ目) をスイッチングした時にタリーを付ける場合の設定方法

(1) 設定したいカメラコンバーターにタリーが点灯している場合は、他の番号をスイッチングして消す。
(2) ⑦タリーナンバー切替ボタンを長押しし、ランプが 3 回点滅し終わるのを待つ。(1 番にリセットする)
(3) スイッチャーで 1 番をスイッチングし、タリーが付くことを確認。
(4) スイッチャーでブラックをスイッチングし、タリーが消えることを確認。
(5) ⑦タリーナンバー切替ボタンを長押しし、ランプが 3 回点滅し終わるのを待つ。
(6) 点滅し終わったらすぐに ⑦タリーナンバー切替ボタンを 4 回押す。(タリーを付けたい番号マイナス 1 回押す)
(例：HDMI 入力 2 の場合には 1 回、SDI の 2 番目なら 5 回、SDI の 3 番目なら 6 回)
(7) スイッチャーで 5 番をスイッチングし、タリーが付くことを確認。

⑧ヘッドセット イヤホン音量
押す度に音量が上がり、最大音量に達すると 3 秒 LED が点灯。もう 1 度押すと最小音量に戻り、押す度に音量が上がる。

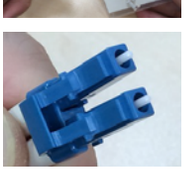
⑨ヘッドセット マイク切替
押して点灯している間だけ自分のマイクが ON になる。(Push To Talk)
2 回素早く押すと常時点灯し、マイクが常に ON になる。もう 1 回押すと消灯し、マイクが OFF になる。インカムヘッドセット側の Mute スイッチを使いたい場合は、常時点灯させておく。

▼光ファイバーケーブル取扱の注意点

長い光ファイバーケーブルの敷設する前に、まずは、短い光ファイバーでテスト接続及び、接続方法の習得をすることをおすすめします。

光ファイバーケーブルの先端は、えのきの頭のような白いプラ製のキャップで保護されています。取り外しの際は、写真のように、1 つずつ、そっと丁寧に引っ張ってください。

キャップを外したら、添付のビニール袋にすぐしまってください。



キャップを外した先端の中心には、髪の毛より細い非常にデリケートな光ファイバーが通っています。
触れたり、ほこりが付着するだけでも使用できなくなりますので、決してぶつけたり床に放置したりしないでください。

カメラコンバーター側には黒いゴム製のキャップが付いています。これも外したらすぐに添付のビニール袋にしまってください。

ケーブルの爪側を上にし、ケーブル先端を決して傷つけないよう、そっと本体に差し込みます。
カチット音がするところまで差し込みます。

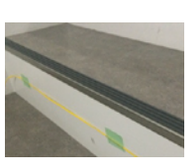
同様に、ケーブルのもう一方をスタジオコンバータの光ファイバー端子に接続します。
(保護コネクタをビニール袋にすぐしまってください。)

カメラコンバータの OPTICAL ランプが点灯すれば、光ファイバーの接続テストは完了です。
映像信号の確認（VIDEO ランプの点灯確認）も行いたい場合は、ここで周辺機器を接続して確認します。

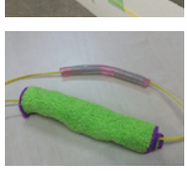
接続テストが完了したら、短い光ファイバーケーブルを抜き、保護コネクタをすぐにかぶせ、短い光ファイバーケーブルを片付けます。

▼光ファイバーケーブル敷設の注意点

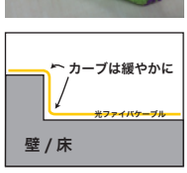
光ファイバーケーブルは、とても切れやすいケーブルです。引っ張ったり、踏んだりするだけでも、使用不能になってしまいますので、養生をしっかりと行ってください。



養生の技 その１：段差などを利用して踏まれにくい部分を使う
階段などを横に配線したい場合は、段差の上の端などを利用して敷設すると踏まれたり蹴かれたりしづらい配線ができます。



養生の技 その２：ホースやハンカチなどの緩衝材でくるむ
ドアのすき間や、窓の間など、ケーブルがこすれそうな所や、何度も開け閉めする場所にケーブルを配線する場合は、ホースを切ったものや、ハンカチでくるむなど衝撃を和らげるものを使うと万全です。



養生の技 その３：最小曲げ半径 30mm 以下には曲げない
光ファイバーケーブルは、曲げすぎるとガラス製の芯線が折れたり、通信速度が著しく低下したりします。
配線時に角で曲がる際には、半径が 30mm 以下にならないようにご注意ください。

▼最小曲げ半径 30mm の実寸